土工

数　量　計　算　書

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)その１

種　目・材　料	略　図	計　　算　　式			数　量	単位
(補　助)			1 式当たり			
掘削・埋戻土量控除						
掘削タイプ１	管材延長					
既設VU150	L=28.50m	(0.165)^2×1/4×π×28.50	=	0.61		
既設卵形150　0.0170㎡/m	L=60.79m	0.0170×60.79	=	1.03		
			小計①	1.64		
平均ﾏﾝﾎｰﾙ深	ﾏﾝﾎｰﾙ個数					
既設1号MH　H=2.382m	N=4個	(1.050)^2×1/4×π×2.382×4	=	8.25		
			小計②	8.25		
掘削土量控除		掘削土量控除分は既設管材と既設マンホール				
		分を加えた分とする。				
			小計①+②	9.89	9.9	m3
埋戻土量控除		既設マンホール分とする。				
		(管材は管路数量計算書で控除済)				
			小計②	8.25	8.3	m3
掘削タイプ２	管材延長					
既設卵形150　0.0170㎡/m	L=26.30m	0.0170×26.30	=	0.45		
			小計①	0.45		
平均ﾏﾝﾎｰﾙ深	ﾏﾝﾎｰﾙ個数					
既設1号MH　H=3.394m	N=2個	(1.050)^2×1/4×π×3.394×2	=	5.88		
			小計②	5.88		
掘削土量控除		掘削土量控除分は既設管材と既設マンホール				
		分を加えた分とする。				
			小計①+②	6.33	6.3	m3
埋戻土量控除		既設マンホール分とする。				
		(管材は管路数量計算書で控除済)				
			小計②	5.88	5.9	m3

土工

数　量　計　算　書

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)その１

種　目・材　料	略　図	計　　算　　式	数　量	単位
(補　助)		1 式当たり		
掘削・埋戻土量控除				
掘削タイプ３	管材延長			
既設VU150	L=35.20m	(0.165)^2×1/4×π×35.20 = 0.75		
		小計① 0.75		
平均ﾏﾝﾎｰﾙ深	ﾏﾝﾎｰﾙ個数			
既設1号MH H=2.412m	N=1個	(1.050)^2×1/4×π×2.412×1 = 2.09		
		小計② 2.09		
掘削土量控除		掘削土量控除分は既設管材と既設マンホール		
		分を加えた分とする。		
		小計①+② 2.84	2.8	m3
埋戻土量控除		既設マンホール分とする。		
		(管材は管路数量計算書で控除済)		
		小計② 2.09	2.1	m3
掘削タイプ４	管材延長			
		小計① 0.00		
平均ﾏﾝﾎｰﾙ深	ﾏﾝﾎｰﾙ個数			
		小計② 0.00		
掘削土量控除		掘削土量控除分は既設管材と既設マンホール		
		分を加えた分とする。		
		小計①+② 0.00	0.0	m3
埋戻土量控除		既設マンホール分とする。		
		(管材は管路数量計算書で控除済)		
		小計② 0.00	0.0	m3

土工

数 量 計 算 書

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設 災害復旧
工事(震災関係)その１

種 目・材 料	略 図	計 算 式	数 量	単位
(補 助)		1 式当たり		
掘削・埋戻土量控除				
掘削タイプ５	管材延長			
既設卵形150 0.0170㎡/m	L=25.10m	0.0170×25.10 = 0.43		
		小計① 0.43		
平均ﾏﾝﾎｰﾙ深	ﾏﾝﾎｰﾙ個数			
既設小口径MH H=1.006m	N=2個	(0.580)^2×1/4×π×1.006×2 = 0.53		
		小計② 0.53		
掘削土量控除		掘削土量控除分は既設管材と既設マンホール		
		分を加えた分とする。		
		小計①+② 0.96	1.0	m3
埋戻土量控除		既設マンホール分とする。		
		(管材は管路数量計算書で控除済)		
		小計１号MH＋別途塩ビMH控除 0.60	0.6	m3
掘削タイプ６	管材延長			
既設卵形150 0.0170㎡/m		0.0170×0.00 = 0.00		
		小計① 0.00		
平均ﾏﾝﾎｰﾙ深	ﾏﾝﾎｰﾙ個数			
既設1号MH H=0.000m	N=0個	(1.050)^2×1/4×π×0.000×0 = 0.00		
既設小口径MH H=0.000m	N=0個	(0.580)^2×1/4×π×0.000×0 = 0.00		
		小計② 0.00		
掘削土量控除		掘削土量控除分は既設管材と既設マンホール		
		分を加えた分とする。		
		小計①+② 0.00	0.0	m3
埋戻土量控除		既設マンホール分とする。		
		(管材は管路数量計算書で控除済)		
		小計１号MH＋別途塩ビMH控除 0.00	0.0	m3

土工

数　量　計　算　書

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)その１

種　目・材　料	略　図	計　　算　　式	数　量	単位
(補　助)		1 式当たり		
掘削・埋戻土量控除				
掘削タイプ７	管材延長			
既設卵形150　0.0170㎡/m	L=14.80m	0.0170×14.80 = 0.25		
		小計① 0.25		
平均ﾏﾝﾎｰﾙ深	ﾏﾝﾎｰﾙ個数			
既設楕円MH　H=1.188m	N=2個	1.050×0.750×1.188×2 = 1.87		
		小計② 1.87		
掘削土量控除		掘削土量控除分は既設管材と既設マンホール		
		分を加えた分とする。		
		小計①+② 2.12	2.1	m3
埋戻土量控除		既設マンホール分とする。		
		(管材は管路数量計算書で控除済)		
		小計② 1.87	1.9	m3
掘削タイプ１３	管材延長			
既設VU150	L=0.00m	(0.165)^2×1/4×π×0.00 = 0.00		
		小計① 0.00		
平均掘削深	ﾏﾝﾎｰﾙ個数			
既設1号MH　H=0.000m	N=0個	(1.050)^2×1/4×π×0.000×0 = 0.00		
		小計② 0.00		
掘削土量控除		新設するスパンの掘削土量の控除はしない		
		小計①+②	0.0	m3
埋戻土量控除		既設マンホール分とする。		
		(管材は管路数量計算書で控除済)		
		小計② 0.00	0.0	m3

管材・マンホール

数　量　計　算　書

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)その１

種　目・材　料	略　図	計　　算　　式	数　量	単位
（補　助）		1 式当たり		
本管部				
既設塩ビ管撤去（ｔ）	管材延長			
既設VU150　0.0039t/m	L=63.70m	0.0039×63.70 = 0.25		
既設卵形150　0.0038t/m	L=126.99m	0.0038×126.99 = 0.48		
既設VU100　0.0017t/m	L=0.75m	0.0017×0.75　影響継手 = 0.00		
既設卵形150　0.0038t/m	L=3.2m	0.0038×3.20　影響継手 = 0.01		
		計 0.74	0.74	t
既設塩ビ管撤去（m^3）	管材延長			
既設VU150　0.0214m3/m	L=63.70m	0.0214×63.70 = 1.36		
既設卵形150　0.0170m3/m	L=126.99m	0.0170×126.99 = 2.16		
既設VU100　0.0102m3/m	L=0.75m	0.0102×0.75 = 0.01		
既設卵形150　0.0170m3/m	L=3.2m	0.0170×3.20 = 0.05		
		計 3.58	3.6	m3
既設ヒューム管撤去（ｔ）	管材延長			
		計 0.00	0.0	t
既設ヒューム管撤去（m^3）	管材延長			
		計 0.00	0.0	m3
清掃工		高圧水洗浄（水圧9.8MPa）		
平均ﾏﾝﾎｰﾙ深	ﾏﾝﾎｰﾙ個数	（壁部）		
既設1号MH　H=2.675m	N=7個	{1.41+0.90×π×(2.675-0.60-0.10)}×7		
		= 48.96		
既設楕円MH　H=1.188m	N=2個	{1.41+(0.60×π+0.60)×(1.188-0.60-0.10)}×2		
		= 5.25		
既設小口径MH　H=1.006m	N=2個	{1.41+0.50×π×(1.006-0.60-0.10)}×2		
		= 3.78		
		計 57.99	58.0	㎡
底部径	ﾏﾝﾎｰﾙ個数	（床部）		
既設1号MH　Φ900	N=7個	(0.90)^2×1/4×π×7 = 4.45		
既設楕円MH　Φ600外	N=2個	{(0.60)^2×1/4×π+0.3×0.6}×2 = 0.93		
既設小口径MH　φ500	N=2個	(0.50)^2×1/4×π×2		
		小計① 5.38		
	管材延長	（床部）		
既設VU150　呼び径 150	L=63.70m	0.15×π×63.70×2(面) = 60.04		
既設卵形150　呼び径 150	L=126.99m	0.15×π×126.99×2(面) = 119.69		
既設VU100　呼び径 100	L=0.75m	0.10×π×0.75×2(面) = 0.47		
既設卵形150　呼び径 150	L=3.2m	0.15×π×3.20×2(面) = 3.02		
		小計② 183.22		
		小計①+② 188.60	188.6	㎡

管材・マンホール

数 量 計 算 書

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)その１

種 目・材 料	略 図	計 算 式			数 量	単位
(非補助)		1 式当たり				
本管部						
既設塩ビ管撤去 (t)	管材延長					
既設VU150 0.0039t/m		0.0039×0.00	=	0.00		
既設卵形150 0.0038t/m	L=3.0m	0.0038×3.00 影響継手	=	0.01		
		計		0.01	0.01	t
既設塩ビ管撤去 (m^3)	管材延長					
既設VU150 0.0214m3/m	L=0.00m	0.0214×0.00	=	0.00		
既設卵形150 0.0170m3/m	L=3.0m	0.0170×3.00	=	0.05		
		計		0.05	0.1	m3
既設ヒューム管撤去 (t)	管材延長					
		計		0.00	0.0	t
既設ヒューム管撤去 (m^3)	管材延長					
		計		0.00	0.0	m3
清掃工		高圧水洗浄 (水圧9.8MPa)				
平均ﾏﾝﾎｰﾙ深	ﾏﾝﾎｰﾙ個数	(壁部)				
既設1号MH H=0.000m	N=0個	{1.41+0.90×π×(0.000-0.60-0.10)}×0				
			=	0.00		
既設小口径MH H=1.531m	N=2個	{1.41+0.50×π×(1.531-0.60-0.10)}×2				
			=	5.43		
		計		5.43	5.4	㎡
底部径	ﾏﾝﾎｰﾙ個数	(床部)				
既設1号MH Φ900	N=0個	(0.90)^2×1/4×π×0	=	0.00		
既設小口径MH φ500	N=2個	(0.50)^2×1/4×π×2	=	0.39		
		小計①		0.39		
	管材延長	(床部)				
既設VU150 呼び径 150			=			
既設卵形150 呼び径 150	L=3.0m	0.15×π×3.00×2(面)	=	2.83		
		小計②		2.83		
		小計①+②		3.22	3.2	㎡

管材・マンホール

数　量　計　算　書

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)その１

種　目・材　料	略　図	計　　算　　式	数　量	単位
（補　助）		1 式当たり		
取付管工				
VU支管	Φ150×100	取付管工内訳表より	1	個
VU支管	Φ200×100	取付管工内訳表より	—	個
VU支管	Φ250×100	取付管工内訳表より	—	個
塩ビ管継手	45° 曲管(Φ100)	取付管工内訳表より	1	個
塩ビ管継手	60° 曲管(Φ100)	取付管工内訳表より	—	個
塩ビ管継手	Φ100、カラー	取付管工内訳表より	1	個

取付管工内訳表

宅地番号	VU支管（個）			塩ビ管継手（個）		
	φ150	φ200	φ250	45° 曲管	60° 曲管	カラー
S9	1			1		1
合計	1	0	0	1	0	1

1号マンホール新設

数 量 計 算 書

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)その１

種 目・材 料	略 図	計 算 式	数 量	単位
(補 助)				
1号マンホール 3.0m以下	S12	2.003 m タイプ 1		
	S21	2.332 m タイプ 1		
		タイプ		
		タイプ		
		平均マンホール深 H= 2.168 m	2.168	m
1号マンホール 3.0m≦H≦4.0m	S13	3.135 m タイプ 2		
	S18	3.024 m タイプ 1		
		タイプ		
		平均マンホール深 H= 3.080 m	3.080	m
		1 箇所あたり		
基礎砕石	RC-40	(1.40)^2×1/4×π×1	1.54	m^2
標準ロス率 +0.2	t=0.2m	1.54×0.20×(1+0.20)	0.37	m^3

塩ビマンホール撤去・新設

数　量　計　算　書

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)その１

種　目・材　料	略　図	計　　算　　式	数　量	単位
(補　助)				
塩ビマンホール 2.0m以下		立ち上がり管φ300　0.0137　t/m		
	ﾏﾝﾎｰﾙ個数	0.0794　m3/m		
平均深さ　H=1.019m	N=1個			
既設塩ビMH撤去（ｔ）		1.019 × 0.0137 × 1 = 0.01396	0.0	t
既設塩ビMH撤去（m3）		1.019 × 0.0794 × 1 = 0.080909	0.1	m3
塩ビマンホール 2.0m≦H≦3.5m		立ち上がり管φ300　0.0137　t/m		
	ﾏﾝﾎｰﾙ個数	0.0794　m3/m		
平均深さ				
既設塩ビMH撤去（ｔ）				t
既設塩ビMH撤去（m3）				m3
清掃工		高圧水洗浄（水圧9.8MPa）		
	平均深さ×箇所数	（床部）		
既設塩ビMH 呼び径 300	L=1.02m	0.30 × π × 1.02 × 2(面) = 1.92	1.9	㎡

(補　助)

※塩ビマンホールの形式は平面図にて判断をしている。

塩ビマンホール新設規格内訳表

	MH番号	H = 2.0m以下		2.0m＜H≦3.5m		
		起点・中間形式	底部会合式	起点・中間形式	底部会合式	マンホール深
タイプ5	S47	1				1.019
	合計（箇所）	1				N=1箇所
					平均H=	1.019m

塩ビマンホール撤去・新設

数　量　計　算　書

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)その１

種　目・材　料	略　図	計　　算　　式	数　量	単位
(非補助)				
塩ビマンホール 2.0m以下		立ち上がり管φ300　0.0137　t/m		
	ﾏﾝﾎｰﾙ個数	0.0794　m3/m		
平均深さ　H=1.118m	N=3個			
既設塩ビMH撤去（ｔ）		1.118 × 0.0137 × 3　= 0.04595	0.1	t
既設塩ビMH撤去（m3）		1.118 × 0.0794 × 3　= 0.266308	0.3	m3
塩ビマンホール 2.0m≦H≦3.5m		立ち上がり管φ300　0.0137　t/m		
	ﾏﾝﾎｰﾙ個数	0.0794　m3/m		
平均深さ　H=2.080m	N=1個			
既設塩ビMH撤去（ｔ）		2.08 × 0.0137 × 1　= 0.028496	0.0	t
既設塩ビMH撤去（m3）		2.08 × 0.0794 × 1　= 0.165152	0.2	m3
清掃工		高圧水洗浄（水圧9.8MPa）		
	平均深さ×箇所数	（床部）		
既設塩ビMH 呼び径 300	L=5.43m	0.30 × π × 5.43 × 2(面)　= 10.24	10.2	㎡

(非補助)

※塩ビマンホールの形式は平面図にて判断をしている。

塩ビマンホール新設規格内訳表

	MH番号	H = 2.0m以下		2.0m＜H≦3.5m		
		起点・中間形式	底部会合式	起点・中間形式	底部会合式	マンホール深
タイプ5	S58		1			0.981
タイプ8	S59				1	2.080
	合計（箇所）		1		1	N=2箇所
					平均H＝	1.531m

Coφ500マンホール撤去
塩ビφ300マンホール布替工

数　量　計　算　書

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設
災害復旧工事(震災関係)その１

種　目・材　料	略　図	計　　算　　式	数　量	単位
集計表				
（非補助）				
掘削タイプ5				
舗装版切断　Co		= 8.00	8.0	m
Co舗装版取壊し		= 3.80	3.8	㎡
残塊処理　Co		= 0.60	0.6	m3
残塊重量　Co		= 1.41	1.41	ton
掘削　028(020)BH	素　掘	= 3.32	3.3	m3
残土処理　土砂		= 0.37	0.4	m3
埋戻　028(020)BH	素　掘	= 2.71	2.7	m3
既設硬質塩ビ管撤去		= 1.50	1.5	m
既設硬質塩ビ管残塊処理	重　量	= 0.01	0.01	ton
	体　積	= 0.03	0.0	m3
既設Coφ500MH残塊処理	重　量	= 0.14	0.14	ton
	体　積	= 0.06	0.1	m3
清掃工	壁　部	= 1.54	1.5	㎡
	床　部	= 3.15	3.2	㎡
舗装工		= 3.80	3.8	㎡
掘削タイプ8				
舗装版切断　Co		= 8.00	8.0	m
Co舗装版取壊し		= 3.80	3.8	㎡
残塊処理　Co		= 0.60	0.6	m3
残塊重量　Co		= 1.41	1.41	ton
掘削　028(020)BH	建込土留Ｃ	= 7.19	7.2	m3
残土処理　土砂		= 0.09	0.1	m3
埋戻　028(020)BH	建込土留Ｃ	= 7.10	7.1	m3
既設硬質塩ビ管撤去		= 1.50	1.5	m
既設硬質塩ビ管残塊処理	重　量	= 0.01	0.01	ton
	体　積	= 0.02	0.0	m3
既設Coφ500MH残塊処理	重　量	= 0.30	0.30	ton
	体　積	= 0.12	0.1	m3
清掃工	壁　部	= 3.27	3.3	㎡
	床　部	= 4.88	4.9	㎡
土留工　　建込土留Ｃ	平　積	= 16.64	16.6	㎡
	延　長	= 4.00	4.0	m
舗装工		= 3.80	3.8	㎡

Coφ500マンホール撤去
塩ビφ300マンホール布替工

数　量　計　算　書

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設
災害復旧工事(震災関係)その１

種　目・材　料	略　図	計　　算　　式	数　量	単位
(非補助)		マンホール　　NO.S58　　(1)		
掘削タイプ5		既設Co厚　15 cm　　復旧As厚　3 cm		
		復旧路盤厚　27 cm		
	管種数			
既設卵形150	N=2箇所			
ﾏﾝﾎｰﾙ高	ﾏﾝﾎｰﾙ個数			
既設小口径MH　H=0.981m	N=1個	φ500Coマンホール		
舗装版切断　Co		2.00×4　=　8.00		m
Co舗装版取壊し		2.00×2.00　=　4.00		
	φ500MH控除	-((0.50)^2×1/4×π)　=　-0.20		
		計　3.80		㎡
残塊処理　Co		3.80×0.15　=　0.60		m3
残塊重量　Co		0.60×2.35　=　1.41		ton
掘削　028(020)BH	素　掘	2.00×2.00×0.831　=　3.32		
	φ500MH控除	-((0.580)^2×1/4×π×0.831)　=　-0.22		
	管控除	-(0.017×0.710×2)		
		=　-0.02		
		計　3.08		m3
残土処理　土砂		3.08-2.71　=　0.37		m3
埋戻　028(020)BH	素　掘	2.00×2.00×0.681　=　2.72		
改良土	φ300MH控除	-((0.320)^2×1/4×π×0.681)　=　-0.05		
	管控除	-(0.017×0.840×2)　=　-0.03		
	φ500からの不足分	=　0.07		
		計　2.71		m3
既設硬質塩ビ管撤去	既設卵形150	0.750×2　=　1.50		m
既設硬質塩ビ管残塊処理	重量	0.0038×0.750×2		
		=　0.01		ton
	体積	0.017×0.750×2		
		=　0.03		m3
既設Coφ500MH残塊処理		φ500Coマンホール		
ﾏﾝﾎｰﾙ高	0.058ｔ/0.4m	躯体重量：　0.058ｔ/0.4m=　0.145 t/m		
既設小口径MH　H=0.981m	重量	0.981×0.145　=　0.14		ton
		鉄筋Co単位堆積重量=　2.50 t/㎥		
	体積	0.14÷2.50　=　0.06		m3

Coφ500マンホール撤去
塩ビφ300マンホール布替工

数　量　計　算　書

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設
災害復旧工事(震災関係)その１

種　目・材　料	略　図	計　　算　　式	数　量	単位
(非補助)		マンホール　　NO.S58　　(2)		
清掃工		高圧水洗浄（水圧9.8MPa)		
	ﾏﾝﾎｰﾙ個数	(壁部)		
既設小口径MH　　H=0.981m	N=1個	0.50×π×0.981×1		
		=　1.54		㎡
底部径		(床部)		
既設小口径MH　　φ500	N=1個	(0.50)^2×1/4×π×1　　=　0.20		
	管材延長	(床部)		
既設卵形150　呼び径 150	L=1.50m	0.15×π×1.50×2(面)　　=　1.41		
		計　3.15		㎡
小口径マンホール設置工　H≦2.00			1	箇所
影響継手工　EGP150 小口径			2	箇所
舗装工		2.00×2.00　　=　4.00		
	MH控除	-((0.500)^2×1/4×π)　　=　-0.20		
		計　3.80	3.8	㎡

Coφ500マンホール撤去
塩ビφ300マンホール布替工

数　量　計　算　書

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設
災害復旧工事(震災関係)その１

種　目・材　料	略　図	計　　算　　式	数　量	単位
(非補助)		マンホール　　NO.S59　　(1)		
掘削タイプ8		既設Co厚　15 cm　　復旧As厚　3 cm		
		復旧路盤厚　27 cm		
	管種数			
既設卵形150	N=2箇所			
ﾏﾝﾎｰﾙ高	ﾏﾝﾎｰﾙ個数			
既設小口径MH　H=2.080m	N=1個	φ500Coマンホール		
舗装版切断　Co		2.00×4　=　8.00		m
Co舗装版取壊し		2.00×2.00　=　4.00		
	φ500MH控除	-((0.50)^2×1/4×π)　=　-0.20		
		計　3.80		㎡
残塊処理　Co		0.00×0.15　=　0.60		m3
残塊重量　Co		0.00×2.35　=　1.41		ton
掘削　028(020)BH	建込土留C	2.00×2.00×1.930　=　7.72		
	φ500MH控除	-((0.580)^2×1/4×π×1.930)　=　-0.51		
	管控除	-(0.017×0.710×2)		
		=　-0.02		
		計　7.19		m3
残土処理　土砂		7.19-7.10　=　0.09		m3
埋戻　028(020)BH	建込土留C	2.00×2.00×1.780　=　7.12		
改良土	φ300MH控除	-((0.320)^2×1/4×π×1.780)　=　-0.14		
	管控除	-(0.017×0.840×2)　=　-0.03		
	φ500からの不足分	=　0.15		
		計　7.10		m3
既設硬質塩ビ管撤去	既設卵形150	0.750×2　=　1.50		m
既設硬質塩ビ管残塊処理	重量	0.0038×0.750×2		
		=　0.01		ton
	体積	0.017×0.710×2		
		=　0.02		m3
既設Coφ500MH残塊処理		φ500Coマンホール		
ﾏﾝﾎｰﾙ高	0.058ｔ/0.4m	躯体重量：　0.058ｔ/0.4m=　0.145 t/m		
既設小口径MH　H=2.080m	重量	2.080×0.145　=　0.30		ton
		鉄筋Co単位堆積重量=　2.50 t/㎥		
	体積	0.30÷2.50　=　0.12		m3

Coφ500マンホール撤去
塩ビφ300マンホール布替工

数　量　計　算　書

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設
災害復旧工事(震災関係)その１

種　目・材　料	略　図	計　　算　　式	数　量	単位
(非補助)		マンホール　　NO.S59　　(2)		
清掃工		高圧水洗浄（水圧9.8MPa)		
	ﾏﾝﾎｰﾙ個数	(壁部)		
既設小口径MH　　H=2.080m	N=1個	0.50×π×2.080×1		
		=　3.27		㎡
底部径		(床部)		
既設小口径MH　　φ500	N=1個	(0.50)^2×1/4×π×1　=　0.20		
	管材延長	(床部)		
既設卵形150　呼び径 150	L=1.50m	0.15×π×1.50×2(面)　=　1.41		
		計　4.88		㎡
小口径マンホール設置工　2.00＜H≦3.50			1	箇所
影響継手工　EPG150 小口径			2	箇所
土留工	建込土留C			
平積		(2.00＋2.00)×2.080×2　=　16.64		㎡
延長		2.00＋2.00　=　4.00		m
舗装工		2.00×2.00　=　4.00		
	MH控除	-((0.500)^2×1/4×π)　=　-0.20		
		計　3.80		㎡

数　量　計　算　書

１号マンホール

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)その１

種　目・材　料	略　図	計　　算　　式	数　量	単位
インバート工		H＝0.17m　　1 箇所当たり		
生コンクリート	18-8-25BB	(0.90)^2×1/4×π×(0.11＋0.17)×1	0.18	m³
モルタル	１：２	(0.90)^2×1/4×π×0.02×1	0.01	m³
養　　生			0.18	m³
歩掛				
左官		(0.90)^2×1/4×π×0.33×1	0.21	人
普通作業員		(0.90)^2×1/4×π×0.33×1	0.21	人
		農業集落排水施設標準積算指針 令和8年度版		
		P.73 表2-4-6 モルタル上塗工		
		左官　　0.33人/㎡		
		普通作業員　　0.33人/㎡		

（集計表）
影響継手工

数　量　計　算　書

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)その１

種　目・材　料	略　図	計　　算　　式	数　量	単位
（補　助）				
① 影響継手工　VU150		既存管延長=　0.800m　全　体	—	箇所
		内孤立MH部		箇所
		影響継手部の既設管撤去延長	—	m
② 影響継手工　EGP150		既存管延長=　0.800m　全　体	4	箇所
		内孤立MH部		箇所
		影響継手部の既設管撤去延長	3.20	m
③ 影響継手工　VU150 小口径		既存管延長=　0.750m　全　体	0.00	箇所
		内孤立MH部		箇所
		影響継手部の既設管撤去延長	0.00	m
④ 影響継手工　EPG150 小口径		既存管延長=　0.750m　全　体	—	箇所
		内孤立MH部		箇所
		影響継手部の既設管撤去延長	—	m
⑤ 影響継手工　VU100		既存管延長=　0.800m　全　体	—	箇所
		内孤立MH部		箇所
		影響継手部の既設管撤去延長	—	m
⑥ 影響継手工　VU100 小口径		既存管延長=　0.750m　全　体	1	箇所
		内孤立MH部		箇所
		影響継手部の既設管撤去延長	0.75	m

影響継手工内訳表

MH番号	① VU150 0.80m	② EPG150 0.80m	③ VU150(小) 0.75m	④ EPG150(小) 0.75m	⑤ VU100 0.80m	⑥ VU100(小) 0.75m	備考
S1							
S2							
S5							
S12		2					
S18		1					
S21		1					
S47						1	
合計	0	4	0	0	0	1	

（集計表）
影響継手工

数　量　計　算　書

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)その１

種　目・材　料	略　図	計　　算　　式	数　量	単位
（非　補　助）				
① 影響継手工　VU150		既存管延長=　0.800m　全　体	—	箇所
		内孤立MH部		箇所
		影響継手部の既設管撤去延長	—	m
② 影響継手工　EGP150		既存管延長=　0.800m　全　体	—	箇所
		内孤立MH部		箇所
		影響継手部の既設管撤去延長	—	m
③ 影響継手工　VU150 小口径		既存管延長=　0.750m　全　体	—	箇所
		内孤立MH部		箇所
		影響継手部の既設管撤去延長	—	m
④ 影響継手工　EPG150 小口径		既存管延長=　0.750m　全　体	4	箇所
		内孤立MH部	4	箇所
		影響継手部の既設管撤去延長	0.00	m
⑤ 影響継手工　VU100		既存管延長=　0.800m　全　体	—	箇所
		内孤立MH部		箇所
		影響継手部の既設管撤去延長	—	m
⑥ 影響継手工　VU100 小口径		既存管延長=　0.750m　全　体	—	箇所
		内孤立MH部		箇所
		影響継手部の既設管撤去延長	—	m

影響継手工内訳表

	MH番号	① VU150 0.80m	② EPG150 0.80m	③ VU150(小) 0.75m	④ EPG150(小) 0.75m	⑤ VU100 0.80m	⑥ VU100(小) 0.75m	備考
タイプ5	S58				2			孤立MH
タイプ8	S59				2			孤立MH
	合計	0	0	0	4	0	0	

数 量 計 算 書

影響継手工

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)その１

種 目・材 料	略 図	計 算 式			数 量	単位
影響継手工 VU150		1箇所当り				
マンホール用可とう継手	φ150				1	個
硬質塩ビ管	VUφ150	(2.50-0.90)÷2	=	0.80	0.80	m
カラー	φ150				1	個
埋設物標示テープ	150mm 2倍	硬質塩ビ管の延長分			0.80	m
影響継手工 EGP150		1箇所当り				
マンホール用可とう継手	φ150				1	個
硬質塩ビ管	VUφ150	(2.50-0.90)÷2	=	0.80	0.80	m
円卵変換カラー	150				1	個
埋設物標示テープ	150mm 2倍	硬質塩ビ管の延長分			0.80	m
削孔	VUφ150				1	箇所
影響継手工 VU150 小口径		1箇所当り				
硬質塩ビ管	VUφ150	(2.00-0.30)÷2	=	0.85	0.85	m
カラー	φ150				1	個
埋設物標示テープ	150mm 2倍	硬質塩ビ管の延長分			0.85	m
影響継手工 EPG150 小口径		1箇所当り				
硬質塩ビ管	VUφ150	(2.00-0.30)÷2	=	0.85	0.85	m
円卵変換カラー	150				1	個
埋設物標示テープ	150mm 2倍	硬質塩ビ管の延長分			0.85	m
影響継手工 VU100		1箇所当り				
マンホール用可とう継手	φ100				1	個
硬質塩ビ管	VUφ100	(2.50-0.90)÷2	=	0.80	0.80	m
カラー	φ100				1	個
埋設物標示テープ	150mm 2倍	硬質塩ビ管の延長分			0.80	m
影響継手工 VU100 小口径		1箇所当り				
					1	個
硬質塩ビ管	VUφ100	(2.00-0.30)÷2	=	0.85	0.85	m
カラー	φ100				1	個
埋設物標示テープ	150mm 2倍	硬質塩ビ管の延長分			0.85	m

影響継手工

数　量　計　算　書

令和８年度(本郷第１地区)農業集落排水管路施設 災害復旧工事(震災関係)その１

種　目・材　料	略　図	計　　算　　式	数　量	単位
(補　助)				
影響継手工　EGP150		1箇所当り		
マンホール用可とう継手	φ150		1	個
硬質塩ビ管	VUφ150		0.80	m
円卵変換カラー	150		1	個
埋設物標示テープ	150mm 2倍		0.80	m
削孔	VUφ150		1	箇所
影響継手工　EGP200		1箇所当り		
マンホール用可とう継手	φ200		1	個
硬質塩ビ管	VUφ200		0.80	m
円卵変換カラー	200		1	個
埋設物標示テープ	150mm 2倍		0.80	m
削孔	VUφ200		1	箇所
影響継手工　EGP250		1箇所当り		
マンホール用可とう継手	φ250		1	個
硬質塩ビ管	VUφ250		0.80	m
円卵変換カラー	250		1	個
埋設物標示テープ	150mm 2倍		0.80	m
削孔	VUφ250		1	箇所